

# 令和2年度 事業計画書（児童養護施設）

自 令和 2年 4月 1日  
至 令和 3年 3月 31日

社会福祉法人 聖母会

施設名： 天使の園

施設長 倉知 香美

印

## 1. 施設の概要（年度初）

所在地 〒061-1121 北広島市中央4丁目5-7	電話番号 011-372-3520 FAX番号 011-372-1894 メール <a href="mailto:tenshinosen@tuba.ocn.ne.jp">tenshinosen@tuba.ocn.ne.jp</a> ホームページ <a href="https://www.tenshiangel-kids.jp">https://www.tenshiangel-kids.jp</a>	定員数 児童養護施設 暫定定員 56名 地域小規模児童養護施設 6名 児童家庭支援センター
----------------------------------	---	--

## 2. 本年度の基本方針

1) 令和2年度の基本方針と重点課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達が安心して生活できるような環境を整える（特に居室の掃除の徹底、破損箇所の修繕など）</li> <li>本体施設の小規模ユニット化を継続するため職員間の連携をさらに密にし子ども達に不安を与えないようにする。</li> <li>性教育を継続して行う。</li> <li>地域小規模児童養護施設と本体施設とのコミュニケーションが円滑になるよう日々の情報共有や協力体制を整える。</li> <li>日常生活の中でリスクマネジメントを意識する。</li> </ul>	2) 平成31年度からの課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達が安心して生活できるような環境を整える。</li> <li>本体施設の小規模化ユニット化に着手するスタートの年であるため職員全体に都度説明しつつ理解と協力を得て行っていく。</li> <li>「ほう・れん・そう（報告・連絡・相談）」を徹底して行い支援のスムーズ化を図りながらチームワークで育てていく。</li> <li>性教育を継続して行う。</li> <li>地域小規模児童養護施設の入所児の見直しをする。孤立しないよう本体施設とのコミュニケーションを図る。</li> <li>災害対策を具体的に検討する（特に停電時の電話、自家発電機）</li> </ul>
---	---

## 3. 人材育成計画

1) 令和2年度の人材育成計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>若い職員が悩みや問題を相談できるような雰囲気づくりを工夫する。また定着を目指して研修会の参加を促し視野を広げさせる。</li> <li>定期的に面接を行い状況を把握する。</li> <li>中堅職員に対しては必要な研修を受講し意識を高める。</li> </ul>	2) 現在の課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>経験年数の若い職員が多いため子どもや保護者、関係各機関の対応に戸惑う場合がある。先輩職員のサポート体制を整えてフォローしていく必要がある。</li> <li>また同年代が増えたことで雰囲気は良い反面、慣れ合いになってしまう傾向も見られる。</li> <li>中堅職員が少なくリーダーとしての統率力も弱いため、中堅職員を育てていくことが急務といえる。</li> </ul>
---	--

## 4. 利用者処遇

1) 令和2年度の重点事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>中高生が占める割合が多くなるため支援も難しさが出ると思われる。反社会的・非社会的な行動をとられないよう思春期の子ども達の心と身体に寄り添う。</li> <li>健康管理に十分気をつける。食物アレルギーの幼児がいるため食物の取り扱いを全職員で徹底する。また2～3歳児が誤飲誤食・怪我のないよう日常から掃除や衛生面に留意する。</li> <li>子どもの意見・意向を尊重しながら個々の特性を踏まえて支援する。</li> </ul>
---

## 5. 研修計画

## 1) 法人内研修

研修会名	研修内容	参加予定人数
聖母会職員研修会	聖母会の歴史について等	3名
聖母会施設長・事務研修会	就業規則・給与規程等の変更	2名

## 2) 施設内研修

研修会名	研修内容	参加サービス区分	参加予定人数
アンガーマネジメント研修	自分の怒りをコントロールしてよりよい支援法を知る	児童養護施設	40名
機中八策	怒らない支援法を学び実際に生かす	児童養護施設	20名

## 3) 施設外研修

研修会名	研修内容	主催者	参加予定人数
児童福祉施設(指導員・保育士)研修会	施設職員スキルアップ講座	北海道 社会福祉協議会	4名
人間と性教育研究協議会研修会	児童養護施設で暮らす子どもたちの生きる力を育むために	人間と性 教育研究協議会	2名
児童養護施設職員研修会	児童養護施設の現状と課題について	北海道児童養護 施設協議会	4名
日本カトリック児童施設協会全国会議	生命の尊厳を実践現場から考える	日本カトリック 児童施設協会	2名
児童養護施設協議会職員研修北海道支部	子どもの権利擁護について	北海道児童養護 施設協議会	2名
児童養護施設現任職員研修会	発達障害をもった子どもの性について	北海道児童養護 施設協議会	2名

## 6. 職員に関する事項(令和2年4月1日)見込

## 1) 児童養護施設

		合計	施設長	指導員	保育士	事務員	栄養士	調理員	臨床 心理士	看護師	相談員	嘱託医
児童養護施設	職員	32.9	0.7	11.6	12.6	2	1	4	1			
	有期・無期契約職員	3.7			1.9			0.8		1		
	派遣職員											
	嘱託医	0.1										0.1
	合計	36.7	0.7	11.6	14.5	2	1	4.8	1	1		0.1
	職員配置必要人員	20.8	0.7	12		1	1	4	1	1		0.1
	施設必要人員	36.8	0.7	26		2	1	5	1	1		0.1
地域小規模児童養護施設	職員	4.8		2.4	2.4							
	有期・無期契約職員	0.2			0.2							
	派遣職員											
	嘱託医											
	合計	5		2.4	2.6							
	職員配置必要人員	4.4		1.4	3							
	施設必要人員	4.4		1.4	3							
児童家庭支援センター	職員	1.3	0.3									1
	有期・無期契約職員											1.6
	派遣職員											
	嘱託医											
	合計	2.9	0.3									2.6
	職員配置必要人員	3.3	0.3									3
	施設必要人員	3.3	0.3									3

合計職員数	職員	39	有期・ 無期職 員	11	派遣職員	0	合計	50
-------	----	----	-----------------	----	------	---	----	----

備考 職員の兼務は、兼務割合で記入する。小数点第二位以下切捨て、小数点第一位まで記入。  
有期・無期契約職員及び派遣職員は常勤換算人数で記入。小数点第二位以下切捨て、小数点第一位まで記入。  
職員配置必要人員で、配置人数が必要で時間まで決められていない場合は、0.1と記入する。  
職員配置必要人員は国・市の人員。補助金、法外等で施設で申請する場合は含んで記入。  
嘱託医で、内科と歯科等届出している場合は、0.1+0.1=0.2となる。  
施設必要人員は常勤換算人数で記入。  
合計職員数は、常勤換算人数ではない。  
派遣職員欄には、業務委託に係る職員は算入しない。

## 7. 利用者に関する事項（令和2年4月1日～令和3年3月31日）見込

## 1) 児童養護施設

定員	稼働月数	利用予定	稼働率	合計	未満児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳児	小学校	中学校	高校生	専学
56	12	672	71.4%	480	12	24	12	12	0	170	140	108	2

## 1) 地域小規模児童養護施設

定員	稼働月数	利用予定	稼働率	合計	未満児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳児	小学校	中学校	高校生
6	12	72	100.0%	72	0	0	0	0	0	24	36	12

備考 利用予定とは、定員×稼働月数  
合計は、月初日在籍者数 当年度4月1日の年齢。中途入園者は、入所月の年齢とする。  
稼働率は、合計÷利用予定=%小数点第二位以下切捨て。

## 2) 児童養護施設 3年間比較表

	令和2年度見込	令和元年度補正見込	平成30年度実績
稼働率	69.3%	73.5%	64.3%

## 2) 地域小規模児童養護施設 3年間比較表

	令和2年度見込	令和元年度補正見込	平成30年度実績
稼働率	100.0%	100.0%	100.0%

備考 稼働率は、小数点第二位以下切り捨て。

## 8. 会議・委員会・避難訓練に関する事項

## 1) 家族会・ボランティア総会等

会議名	会議内容	年開催予定数
	該当なし	

## 2) 会議

会議名	会議内容	参加職種	年開催予定数
リーダー会議	事業計画及び中長期計画案の作成及び実施状況の確認。規則等変更案の検討など	施設長・各部代表	12回
職員会議	全職員の事業遂行に関する合議を図り職員の意志の疎通と円滑な運営を図る	全職員	4～5回
ケース会議	児童の自立支援計画の作成・問題を抱えている児童について話し合い支援方針を立てる	指導員・保育士・心理士	12回
給食会議	児童の健全な発育・発達を支える食事の提供に努めるため給食部職員と処遇職員で話し合う	栄養士・調理員・保育士	12回
部会議	部署で検討が必要な事項について話し合い共通認識と意志の疎通を図る	指導員・保育士	12回

## 3) 委員会

委員会名	委員会内容	参加職種	年開催予定数
防火管理委員会	児童の安全な生活を守るため各種災害対策	施設長・各部代表	2回
衛生委員会	伝染病疾患などの蔓延の予防・発生・防止に対応するための対策を検討	施設長・指導員・栄養士	2回
性と命を守る会	子どもが成長していく中で自分の成育歴・発達に伴う心身の変化をプロジェクトのメンバーが中心になって伝える	施設長・指導員・保育士	12回
苦情解決委員会	児童・保護者・地域住民からの苦情を解決するため児童の権利を擁護し処遇の向上のために体制を整える	施設長・指導員・保育士	随時
ハラスメント対策委員会	職員が心身ともに安心して働き続けることができるよう事例が発生した場合速やかに事態を把握し解決する	施設長・指導員・保育士	随時
公益通報対応委員会	不正行為などの早期発見と是正を図り正当になされた通報行為に対して通報者を保護する	施設長・指導員・保育士	随時

## 4) 避難訓練

避難訓練予定回数	内夜間想定避難訓練 予定回数	内消防署合同 避難訓練回数	内近隣等地域合同 避難訓練予定回数
12回	1回	1回	1回

## 9. 新規事業の開設・廃止・定員変更予定

開設・変更予定 年月日	開設・廃止 定員変更	事業名	内容
該当なし			

備考 加算等の新規・変更等は記入不要

## 10. 契約に関する事項

単位：円

契約予定年月日	契約予定期間	契約サービス区分	契約の相手方	契約の概要	見積書 数	契約予定金額	理事会 申請
R2. 3. 31	R2. 4. 1~R3. 3. 31	児童養護施設	野村不動産 パートナーズ(株)	設備保守	1	5,492,520	○
R2. 4. 15	R2. 5. 18~R2. 5. 19	児童養護・ 地域小規模	キャノンシステム アンドサポート(株)	パソコン20台購入	1	3,033,800	△
R2. 4. 15	R2. 5. 18~R2. 5. 19	児童養護施設	キャノンシステム アンドサポート(株)	児童記録管理システム	1	3,700,400	△
R2. 4. 15	R2. 5. 18~R2. 5. 19	児童養護施設	キャノンシステム アンドサポート(株)	児童記録サーバー一式	1	1,480,600	
R2. 7. 20	R2. 9. 18~R2. 9. 19	児童養護施設	野村不動産 パートナーズ(株)	井水濾過器活性炭・除鉄濾 材交換工事	1	2,359,500	

備考 事業年度に関わる契約について記載  
 契約の相手方が入札等でわからない場合は、記入不要。  
 給食・工事・器具・保守・保険契約については、契約予定金額の総金額が100万円以上について記載。  
 12 補助金・受託事業については記入不要。  
 新規リース契約を含む  
 500万1円以上の理事会申請事項に○、300万1円以上500万円以下の理事長申請事項に△。

## 11. 補助金・受託事業(利用者負担金除く)に関する事項

## 1) 児童養護施設

単位：円

サービス 区分	交付機関名	交付及び使用目的	金額
児童養護施設	北広島市	児童手当	3,720,000
地域小規模 児童養護施設	北広島市	児童手当	600,000
児童養護施設	北海道	社会的養護自立支援事業・アフターケア事業	6,170,000
児童養護施設	北広島市他	ショートステイ委託費	160,000
児童養護施設	北海道	一時保護委託費	350,000
児童養護施設	北海道	里親委託費	50,000
児童家庭支 援センター	北海道	運営委託費	8,389,000

備考 補助金事業収入(4331)・受託事業収入(4332)・その他の事業収入(4339)の利用者負担額除いた事項を記載。

## 12. 借入金の状況

単位：円

サービス 区分	前年度末残高見込額	当年度借入金予定額	当年度返済予定額	当年度末借入金 残高見込み額	借入先	借入金用途
該当なし						

備考 外部よりの借入金について記入。  
借入先が違う場合、借入先毎に記入。

## 13. 施設整備状況 「固定資産・建設仮勘定・修繕費」

単位：円

サービス区分	施行名・品名	数量	目的及び理由	見積書数	金額	理事会申請
児童養護施設	井水濾過器活性炭・除鉄濾材交換工事	1	井戸水の水質保持の為2年おきに交換	1	2,359,500	
児童養護施設	井水メーター交換	1	老朽化の為	1	709,500	
児童養護施設	ボイラー部品交換	1	老朽化の為	1	399,300	
児童養護施設	給湯循環ポンプ交換	1	老朽化の為	1	293,700	
児童養護施設	ノートパソコン	14	windows7保守終了の為入替	1	2,120,800	
児童養護施設	児童記録管理ソフト	1	windows7保守終了の為入替	1	3,700,400	△
児童養護施設	児童記録サーバー一式	1	windows7保守終了の為入替	1	1,480,600	
児童養護施設	ノートパソコン	3	児童用のパソコン購入の為	1	462,000	
児童養護施設	給食管理ソフト	1	バージョンアップの為	1	150,700	
地域小規模児童養護施設	ノートパソコン	2	windows7保守終了の為入替	1	297,000	
地域小規模児童養護施設	ノートパソコン	1	児童用のパソコン購入の為	1	154,000	

備考 1件100万円以上は見積書を添付して下さい。(施設控のみ1部)  
 修繕費は1件30万円以上の事項について記載して下さい。  
 固定資産は1件10万円以上を記入して下さい。  
 500万円以上の理事会申請事項に○、300万円以上500万円以下の理事長申請事項に△。

## 14. 予算作成にあたっての施設長所感

- ・指導部の全パソコンの入れ替えに伴い児童記録管理ソフト、サーバー一式も入れ替える。本体施設建築から10年が経過し設備の不具合や故障が予想されるため予算計上する。
- ・施設の小規模ユニット化を整備し新年度からも継続していく。国の指針に対して敏感に情報をキャッチしながら慎重に行っていく。また措置費の加算対象の研修に随時参加し職員の待遇向上を目指す。

社会福祉法人 聖母会 理事会 承認  
承認年月日

社会福祉法人 聖母会  
理事長 塩塚 俊子 印